

民主島根

2021年
1.17
第1376号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

“政権交代でいのちを守る政治へ” 松江演説会

田村賢賢「総選挙・地方選勝利を」

大平前衆議、むこせ衆院2区ら予定候補が訴え



声援に応える大平氏（右から4人目）、むこせ氏（その左）ら。



田村副委員長の訴え（動画）を熱心に聞く参加者

松江市で10日、日本共産党の田村賢賢副委員長・参院議員のビデオ演説による演説会が開かれました。政権交代には衆院中国ブロックでの大平よしの前衆院議員の議席奪還が不可欠だとし、「対話を広げ、4月の地方選と一体に大きく政治を変え、新しい政治を私たちの手で打ち立てたい。そのために共産党を伸ばそうよ」との声を島根で多数の世論にしていこうと呼びかけました。田村氏は次の総選挙での野党連合政権をめざし党が提唱する「五つの提案」を紹介。提案は島根原発の再稼働を許さないものだとし「原発再稼働を許さない世論とも響き合い、新しい日本の政治を求める大きな流れをつ



くろう」と訴えました。大平氏は「五つの提案はどこでも響き合っている。中国地方の願っている道だ」と述べました。

希望ある政治の実現へ

松江・出雲 地方議員ら先頭に新春宣伝

日本共産党の尾村利成県議、岩田剛東部地区委員長、吉儀敬子、田中はじめ両松江市議、舟木けんじ、たしばなふみ両市議予定候補は2日、大型商業施設前で新春宣伝し、「国民に『自己責任』を迫る菅政権のコロナ対応の無為無策が国民の苦難を増大させている。政権交代を実現し、希望ある政治の実現を」と呼びかけました。（写真）

むこせ慎一衆院島根2区予定候補が訴え。立憲民主党の亀井亜紀子衆院議員のメッセージが紹介されました。

前衆院議員の比例議席奪還と松江市議選での3議席確保を果たさせてほしい」と訴えました。

出雲市では、大国陽介県議、後藤由美市議、吉井やすみ市議予定候補が宣伝しました。

鼓動

新型コロナウイルスの新型感染者の激増が続く中、菅首相は7日、東京、神奈川県、埼玉、千葉の1都3県を対象とする2度目の緊急事態宣言を発出した。飲食店の時短営業の要請などが柱だが、時短要請に実効性をもたせる要である十分な補償はなく、罰則頼みにする政府の姿勢に不信感募るばかり。国民にはお金を出し渋るのに、菅首相自身は巨額の税金を好き勝手に使っていたことが「しんぶん赤旗」が情報公開で入手した資料で判明した（赤旗）1月4日付）▼菅首相が第2次安倍政権で内閣官房長官に在任した7年8ヵ月（2822日）で支出した官房機密費は95億4200万円余。その約91%にあたる86億8000万円超（1日平均307万円）を領収書なしで菅氏が自由に使える「政策推進費」に振り分けられていた▼官房機密費は会計検査院に対しても支出先や目的を明かさす必要のない「つかみ金」。驚くべきことに、昨年の自民党総裁選の直前にも巨額が引き出されていた▼菅氏が総裁選の出馬表明したのは昨年9月2日。その前日の1日に菅氏は機密費から9020万円を自身が自由に使える「政策推進費」に。菅氏が首相に指名された16日に機密費の引き継ぎが行われたが、9月1日と16日の間で4820万円が使われていた▼法政大学名誉教授（政治学）の五十嵐仁氏は「国民の命よりも権や自分の政治生命を優先する官房長官では、機密費という『闇金』を何に使っていても不思議ではない」と話す。総裁選勝利のために機密費を使ったのではないかと疑いたくなる。（遠）

オンライン 地方議員総決起集会

大平前衆院議員の議席奪還へ

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所は12月27日、大平よしの前衆院議員（衆院中国ブロック比例）の議席奪還に向けて、中国5県の県議団長や政令市議団長、県庁所在地の市議団長らによる地方議員総決起集会をオンラインで開催しました。（写真上）

会議では、大平前衆院議員（写真下・左端）、すみより聡美・党岡山県委員会青年学生部長（衆院中国比例）が決意表明。議員からはコロナ禍での住民の苦難軽減の取り組みや新しい層への結びつきへの努力が語られました。



コロナ禍で頑張る学生を応援！ 食料支援プロジェクト

1月17日(日) 10~12時

キッチンスタジオ・等(ナド)にて

(松江市西川津町3234-2)

●新型コロナで影響を受けている学生のみなさんに食料や生活用品を無料で提供します。

* マイバッグをご持参ください。

* 当日、一緒に参加して頂けるボランティアも募集中です。

主催：日本民主青年同盟島根県委員会